

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ～す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゅ～す

モノづくり現場の未来を見つける
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

JCD 「TCT Japan 2022」開催

3Dプリンティング & AM技術の総合展 2022年1月26日(水)・27日(木)・28日(金) 東京ビッグサイト及びオンラインで開催

製造業DXを実現する キーテクノロジー 3Dプリント技術総合展

TCT Japan 事務局(JTBコミュニケーションデザイン=JCD)は、2022年1月26日(水)～28日(金)の3日間、東京ビッグサイトにおいて、3Dプリンティング&AM技術の総合展「TCT Japan 2022」を開催する。

TCT Japanは、JCDと、アメリカやドイツ、イギリス、中国と日本を含む世界5か国で3Dプリンティング/アディティブマニュファクチャリング(AM)技術に関する展示会・カンファレンスを主催するRapid News Publications Ltd.(Chester, UK CEO: Duncan Wood=RNP)の共催の下、国内で4回目の開催となる展示会・カンファレンス。前回に引き続きオンラインとハイブリッドで開催する。

昨今のモノづくりにおいては、製造現場のエンジニアリング(設計開発)・サプライ(製造生産)双方のプロセスにおけるデジタル化による柔軟な適応力強化や分散型生産などが注目されている。取り分け3Dプリンタを含むアディティブマニュファクチャリング技術(AM技術)は、製造業DXを実現するテクノロジーとしての利用が加速化している。

同展示会では、前回展の2倍の規模となる50社・団体がグローバルブランドの3Dプリンタをはじめ、約150の最

新製品・サービス・テクノロジーを展示するほか、国内初の発表を含む最新ソリューションを披露するなど幅広い産業界の注目を集めている。

また、会期中は開催以来初となる展示会場内に2つのセミナー会場を設置。3日間で過去最多の延べ40を超えるセッションも予定している。

さらに、例年多くの注目を集めるTCT Conference Stageでは、エンドユーザーをはじめ、アカデミア・ベンチャー・公的機関等の有識者が国内外市場動向・ビジネスモデル・応用事例・研究開発トレンドを発信。TCT Introducing Stageでは、出展者が最新の製品・サービスを多数発表するなど、AM技術における国内外の最新動向を発信していく。

30を超えるブランドの 最新3Dプリンタを展示

近年、AMに関する一連のつながりを意識したソフトウェア・材料・加工までのあらゆる業態が一体化する買収がグローバルで加速。エンジニアリング・サプライ双方のプロセスを繋いだソリューションとするエコシステム構築が広がりを見せている。プレーヤーの垣根が下がりシームレスにつながる動きが活発になるにつれ、TCT Japan参加企業の領域も拡大している。

核となる3Dプリンタは、前回に比べ1.5倍となる30を超える3Dプリンタブランドの展示が見込まれ、最先端の

実機や造形サンプルを見学できる。

国内初披露を含む多数の AMソリューション登場

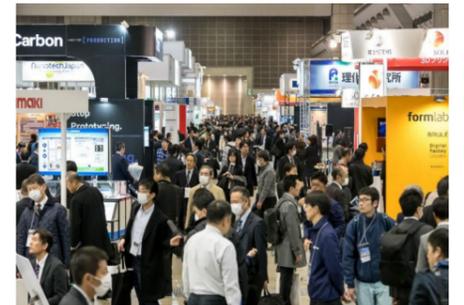
今回、最大規模の出展となる日本電子は、新製品の電子ビームによる金属3Dプリンタの実機を展示するほか、formlabs、日本3Dプリンター、パシフィックソーワ、太陽日酸をはじめとする参加企業が幅広い製品群を紹介する。

また、プレーヤーを繋ぐ存在として大きな注目を集めるソフトウェアでは、マテリアライズジャパンがLink3D買収オプションを反映した製品を国内で初めてデモ展示する。シーメンスデジタルインダストリーズソフトウェアやnTopologyなど設計・製造各シーンを強力にサポートする製品も登場する。

一方、海外からはCubicure(オーストリア)やXi'an Bright Laser Technologies (BLT)(中国)が日本国内の展示会に初めて出展ほか、幅広い材料・独自ノウハウを有する加工技術など、Dプリンティング技術の活用には欠かせないソリューションや最新技術を披露する。

2ステージで過去最多の セミナー40セッション

また、日本3Dプリンティング産業技術協会を企画協力パートナーとして招き開催するTCT Japan Conferenceでは、15名を超え



る有識者を招聘。国内外の市場動向・ビジネスモデル・応用事例・研究開発トレンドを連日発信するほか、近畿経済産業局・3D

モノづくり普及促進会とも共催カンファレンスを開催し、世界の製造業DXの最新事例をグローバルブランド日本市場担当者より

紹介する。

会期初日は、AM技術を活用したビジネス機会の獲得に焦点を当て、矢野経済研究所・デロイトトーマツ コンサルティングより

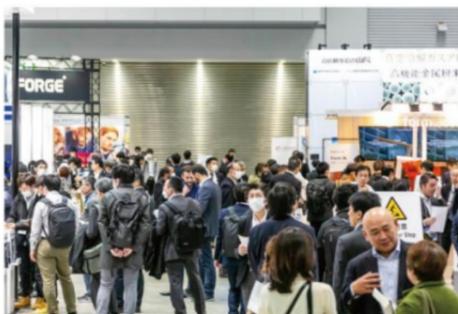
新型コロナウイルス流行前後の国内3Dプリンタ市場動向や世界の3Dプリンティング活用トレンドに言及するほか、AMビジネス

の最前線で事業を展開するスタートアップ2社より戦略・将来展望を解説する。

また会期2日目は、例年多くの聴講を集める応用事例をテーマに、過酷な環境下でのレーシング走行を目指す熱交換器開発事例や分散型の医療機器開発プラットフォーム構築の展望を披露する。セッションでは有望な自動車・医療業界における最新事例ほか、最終日は、研究開発の最新事例が紹介されるなど、海外の技術動向も発信していく。

開催日は、2022年1月26日(水)～28日(金)。会場は、東京ビッグサイト 東3ホール。

詳細ならびに事前登録は、専用サイトを参照。



■TCT Japan 2022 公式WEBサイト→ <https://www.tctjapan.jp/index.html>